

特集

# 方谷さん

わしが直接  
ご案内しよう



江戸時代末期、財政破綻寸前だった備前松山藩(現在の高梁市)で財政再建担当に抜擢された山田方谷は、画期的な藩政改革を行い、明治時代以降は教育者として、近代日本の礎を築いた多くの優秀な人材を育て、後世にも大きな影響を与えました。

現在本市は、人口減少をはじめさまざまな課題に直面しています。「健康都市たかはし」を都市像に掲げ、令和3年3月に策定した高梁市総合計画では、山田方谷の「理財論」などの教えを根底に据え、課題解決へ向けた取り組みを推進していくこととしています。

方谷の「至誠惻怛」の精神や透徹した時代認識は現代のまちづくりにも通じる点があります。地域の人々が心豊かに安心して過ごせる社会を実現するために尽力した方谷の生涯について特集します。

☎秘書企画課 21-0210

## 苦難の連続だった 幼少期

政治や教育などの分野で数々の功績を残したことで知られる方谷ですが、幼少期は苦難の連続でした。14歳で母・梶を、翌年には父・五郎吉を亡くし、わずか15歳にして生みの親を二人とも失った方谷は、農業や家業の菜種油の製造販売を継ぐと同時に、父の遺言に従って日夜学業にも励みました。そして、この頃に得た商売の経験や苦勞が後に実を結び、備前松山藩を救った藩政改革に大きく役立ったのです。

## めざせ！ 方谷さん

中井小学校6年 西角萌々嘉さん

若い頃に突然家族が亡くなったり、家の仕事を継ぐことになったり、大変な状況の中でも粘り強く勉強と仕事に励んだ方谷さんはすごいと思います。私も方谷さんのように勉強や家の手伝いを頑張って、周りに良い影響を与えられる人になりたいです。

